

## 令和3年度 公益財団法人京葉鈴木記念財団事業計画

当財団は、次世代を担う青少年の育成、創造性及び健全性を育み心豊かな成長を図るための活動助成事業と、施設の貸与事業を今年度も継続して行う。

### 1. 助成事業

昨年度と同様、助成の対象となる経費は、青少年の育成に寄与する事業を推進するために通常必要とされる費用並びに設備備品等の購入資金とし、助成金の総額は下記配当収入と合わせ1000万円、原則1件当たりの助成の金額は20万円を限度とする。対象団体は、主として東京都、千葉県を中心とした関東圏内で活動している非営利団体と、東日本大震災の被災地及びその他自然災害の被災地で活動している非営利団体とする。

代表理事より、平成26年12月に上記法人、株式会社K S Jの普通株式4,200株、鈴木恵美子氏より普通株式30,000株を無償にて寄付を受け、普通株式1株に対して、A種優先株式1株に変更するに至った。同時に基本財産に繰り入れた。その後更に平成30年12月に41,000株、令和元年12月に119,000株令和2年12月に5,000株の株式会社K S Jの普通株式を代表理事より寄付を受け、普通株式165,000株とA種優先株式153,144株合計318,144株となり、先々得られる配当収入は、年間約950万円以上と予想され、その資金を元に助成事業及び貸与事業に係る資産の維持管理に充てる計画である。

また、助成事業を広めていくにあたり、ケーブルTVを媒体としたJCOMさんに当財団のコマーシャルを依頼。更に広報していく計画がある。費用は年間110,000円を予定している。

### 2. 施設の貸与事業

#### (1) 貸与施設

施設は青少年育成に寄与する事業を行う東京都、千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県内で活動している非営利団体に対して無償にて貸与する。

#### (2) 令和元年度以降に取得する貸与施設

現在京葉鈴木グループで千葉県茂原市で27万㎡の宅地造成工事を5カ年計画で着工していて、その事業地内で約9万㎡の野球グラウンド造成工事も計画している。完成すると両翼97㍎、センター127㍎の硬式野球面と中型、小

型の野球面が完成予定であり、そのグラウンドを財団で令和4年度(2022年)には、株式会社KSJから約15億円で購入して行きたいと計画している。コロナ禍の影響で今年に延期の2021年東京オリンピックパラリンピックもあり、スポーツ人口の増加を見込んでおり、子ども達に未来への投資と考え取り組んでいきたい。

資金に関しては、おかげさまをもって潤沢に集まるので可能と考える。また所有物件も増えて時間も経ってきており、定期的な施設の修繕費用も計画的に計上し、予算を執行していく。使用機材、重機、労務費用は京葉鈴木グループ法人より、市場よりも安く調達に協力していただく予定である。

他、昨年に引き続き、蓮沼合宿所の利用頻度の低い併設のグラウンドに関しては全体の面積、約1900坪中、1500坪の売却を計画している。市場価格でいくと坪当たり20,000円を予想していて、30,000,000円になる予定だが、先々前述した茂原グラウンド購入費用に充てる計画である。

合宿所(110坪)に関しては引き続き、貸与事業で使っていきたい。

・東小岩バッティング施設(所有)

年6回、器具メンテナンス、清掃業務 1名 20,000円/日を2名  
計年間約260,000円(税込み)

・船橋市豊富町グラウンド(所有)

年6回、重機整地作業、施設清掃 トイレ清掃、草刈り(夏場のみ)業務、1名  
20,000円/日を4名 重機オペレータ1名 25,000円/日を1名 重機レンタル

30,000円/日、年間6台分 整形用に必要な土砂購入費用、2,400円/m<sup>3</sup>、年間  
15m<sup>3</sup>

計年間約920,000円(税込み)

・蓮沼武道館(所有)

年6回、施設清掃、器具メンテナンス、草刈り(夏場のみ)業務、1名 20,000円/日を3名

計年間約390,000円(税込み)

・船橋鈴身町グラウンド(所有)

年6回。施設清掃、器具メンテナンス作業、草刈り(夏場のみ)業務、1名 20,000円/日を5名 重機オペレータ1名 25,000円/日を2名、重機レンタル30,000円を2台、年間24台分 整形用に必要な土砂購入費用、2,400円/m<sup>3</sup>、年間

